

株式会社ニレコ

2021年3月期
決算説明資料
(証券コード：6863)

2021年5月14日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

業績推移

20/3期

21/3期

22/3期計画

受注高 8,317百万円
(前期比▲11%)

受注高 7,447百万円
(前期比▲10%)

受注高 8,800百万円
(前期比+18%)

売上高 8,775百万円
(前期比+4%)

売上高 7,899百万円
(前期比▲10%)

売上高 8,500百万円
(前期比+8%)

営業利益 952百万円
(前期比+6%)

営業利益 600百万円
(前期比▲37%)

営業利益 650百万円
(前期比+8%)

実績及び計画

重点テーマ

- ◆ 市場の拡大
- ◆ 技術の進化
- ◆ 株主還元

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

事業基盤の拡大強化

競争優位性の向上

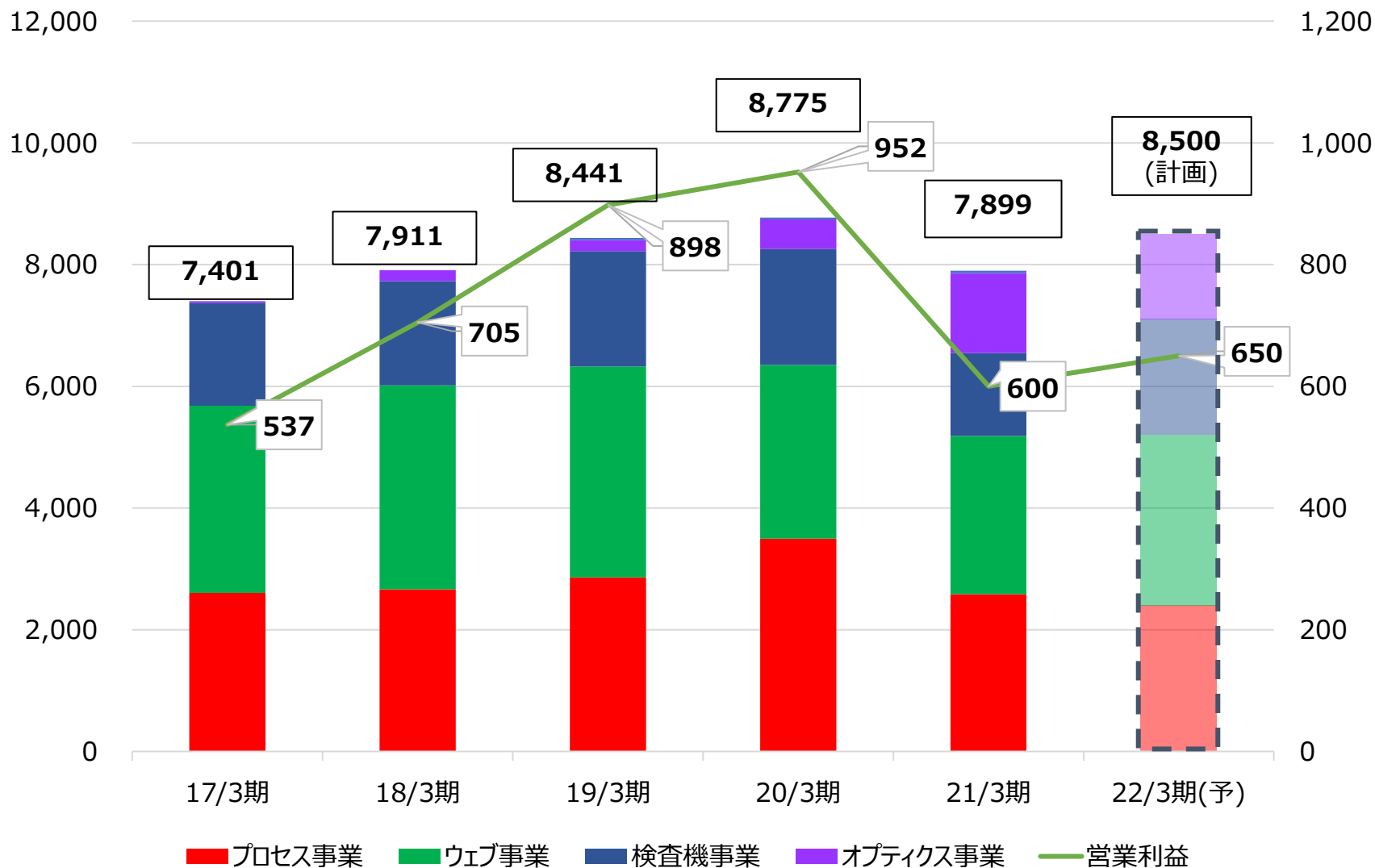
21/3期の取組み

- 光学分野への事業展開強化
- 新製品の開発と販売開始
- リモートワーク等、事業効率化の追求
- 事業提携の実施

安定配当の維持を基本に配当性向35%を目標

業績推移

(単位：百万円)



※18/3期以前の光学事業の表示は、従来の「その他」の数値を基に記載しています。

1. 前期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて

1. 前期実績 (2020/4 – 2021/3)

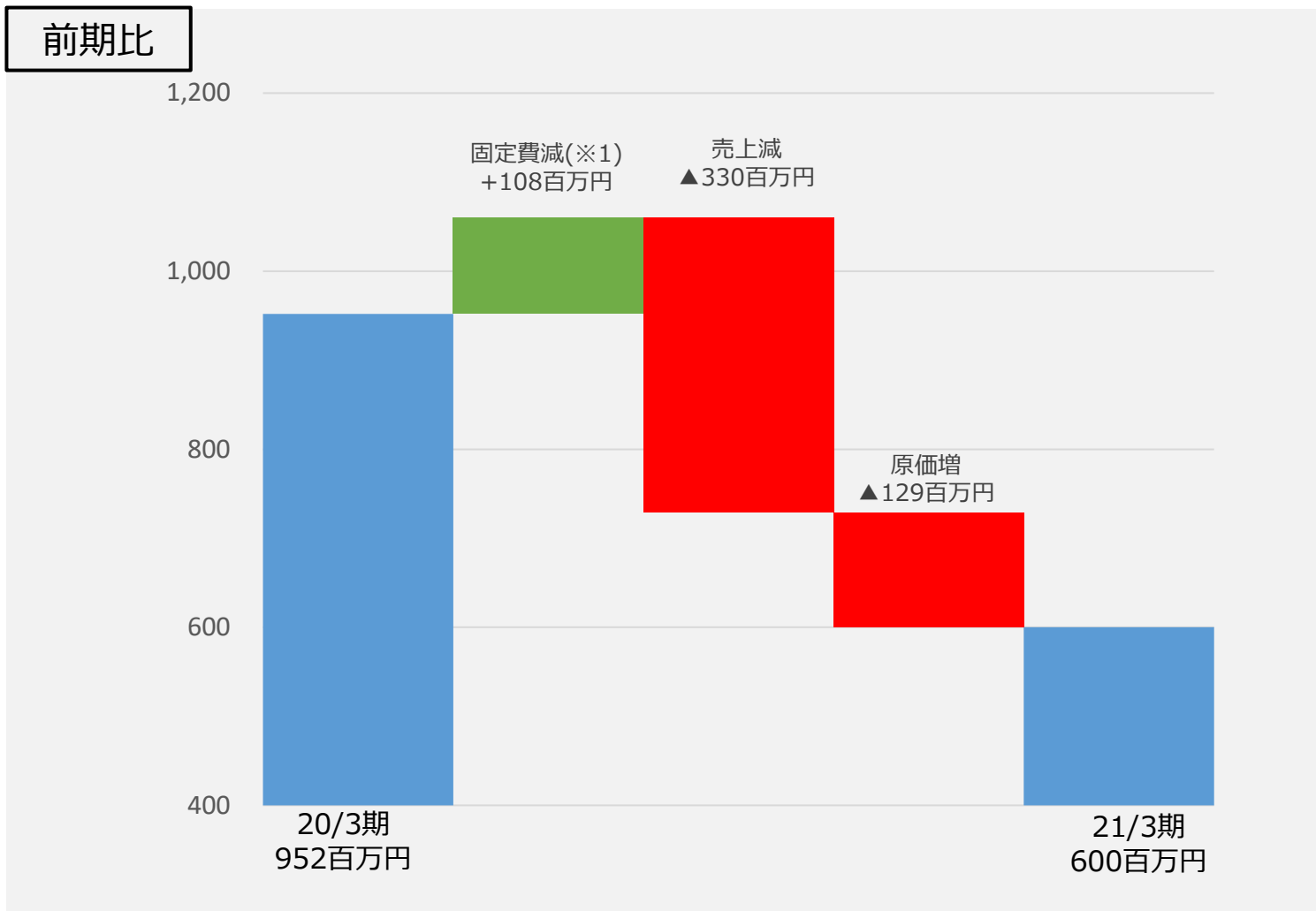
連結実績

- コロナウィルス感染症の拡大等により、年度前半に各業界の設備投資が大きく減少し、受注・売上高が減少

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期		増減率	
	実績	期初計画	実績	前期比	計画比
受注高	8,317	8,700	7,447	▲10%	▲14%
売上高	8,775	8,400	7,899	▲10%	▲6%
営業利益	952	450	600	▲37%	+34%
営業利益率	10.9%	5.4%	7.6%	-	-
経常利益	989	490	635	▲36%	+30%
経常利益率	11.3%	5.8%	8.0%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	779	340	432	▲44%	+27%
当期純利益率	8.9%	4.0%	5.5%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	106.58	46.54	59.06	▲45%	+27%
受注残高	3,367	3,667	2,914	▲13%	▲21%

営業利益増減要因



※固定費 = 販売費及び一般管理費

プロセス事業

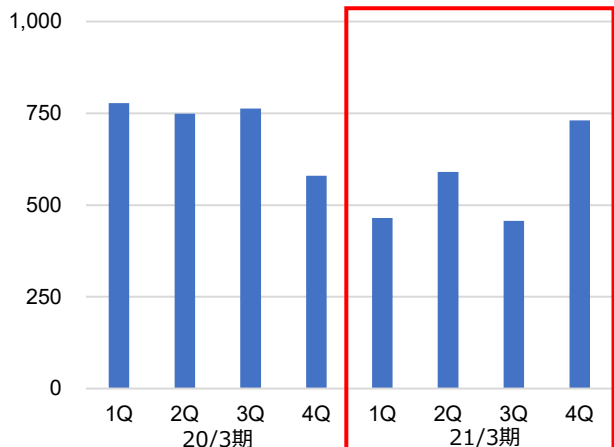
- 鉄鋼業界における設備投資抑制の動きを受け、受注・売上高減
- 中国経済の回復等を受け、期末にかけ国内鉄鋼業界の稼働率向上

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期		増減率	
	実績	当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	2,870	2,800	2,242	▲22%	▲20%
売上高	3,497	2,600	2,584	▲26%	▲1%
セグメント利益	736	350	412	▲44%	+18%
セグメント利益率	21.1%	13.5%	15.9%	-	-
受注残高	1,514	1,714	1,173	▲23%	▲32%

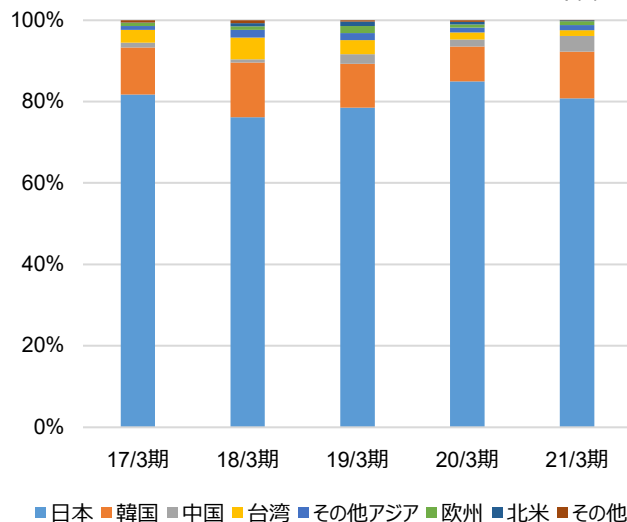
受注高推移

(単位：百万円)

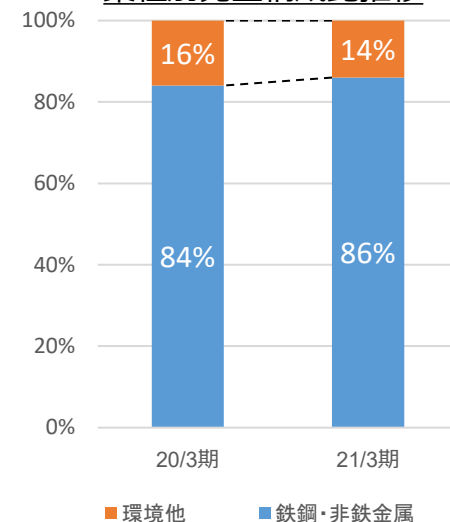


地域別売上高推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移



ウェブ事業

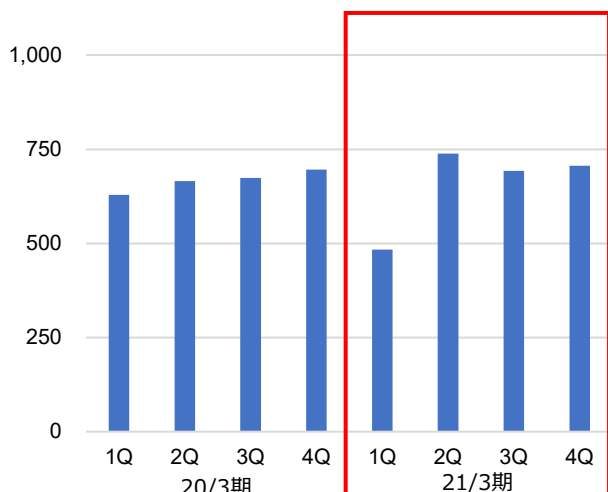
- 海外二次電池需要は堅調も、他分野でコロナ影響等により売上高、利益が前期比で減少
- 販売先各業界の生産ライン投資は、期中より回復

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期		増減率	
	実績	当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	2,664	2,600	2,620	▲2%	+1%
売上高	2,853	2,600	2,599	▲9%	▲0%
セグメント利益	547	350	291	▲47%	▲17%
セグメント利益率	19.2%	13.5%	11.2%	-	-
受注残高	559	559	580	+4%	+4%

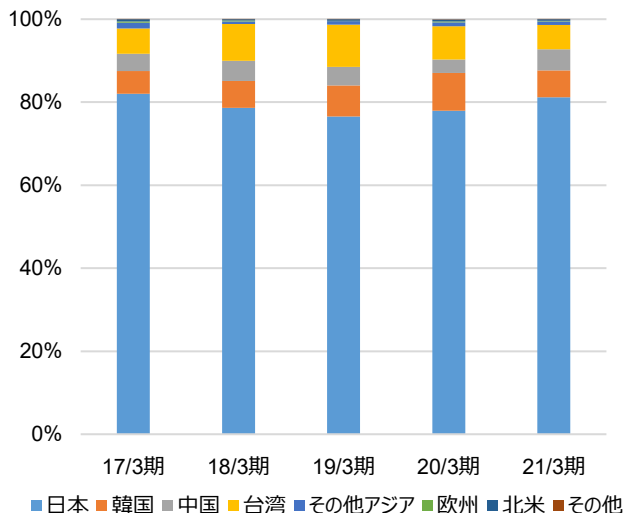
受注高推移

(単位：百万円)

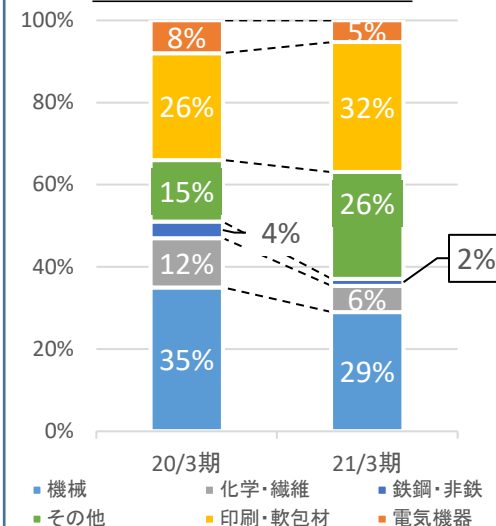


地域別売上高推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移



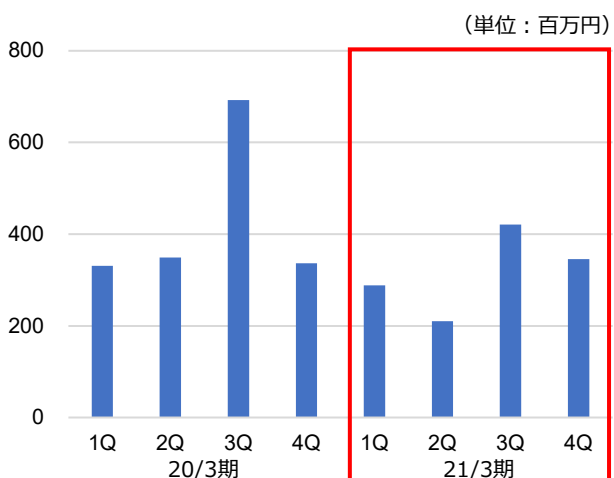
検査機事業

- 無地検査装置は市場の不透明感の中、企業の設備投資延期が相次ぎ、売上高減少
- 食品外観検査装置は受注・売上高前期同水準維持

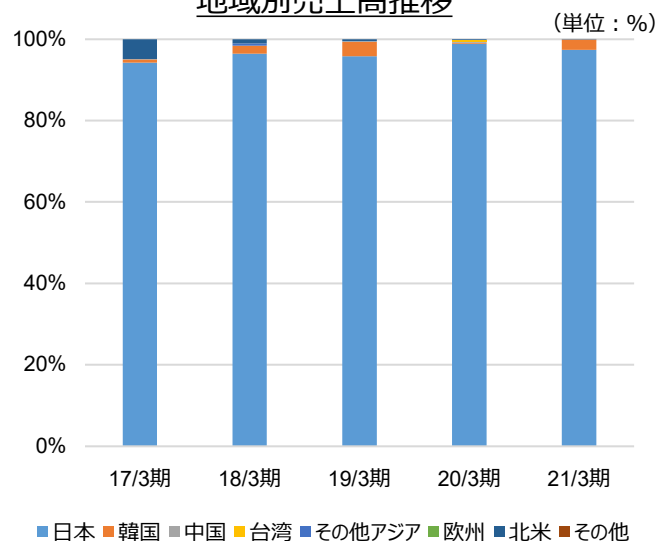
(単位：百万円)

	20/3期	21/3期		増減率	
	実績	当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	1,708	2,000	1,265	▲26%	▲37%
売上高	1,906	2,000	1,365	▲28%	▲32%
セグメント利益	92	100	▲19	-	-
セグメント利益率	4.9%	5.0%	▲1.4%	-	-
受注残高	711	711	611	▲14%	▲14%

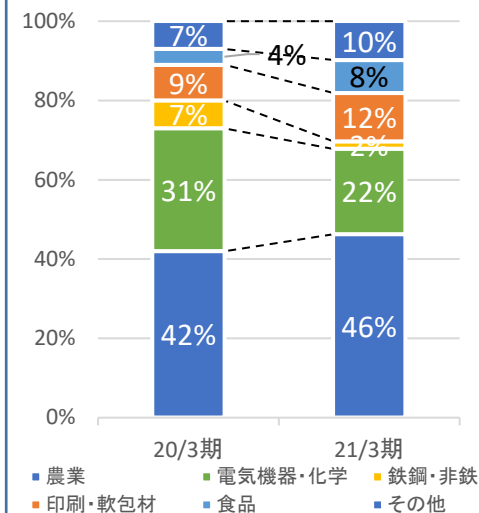
受注高推移



地域別売上高推移



業種別売上構成比推移



オプティクス事業

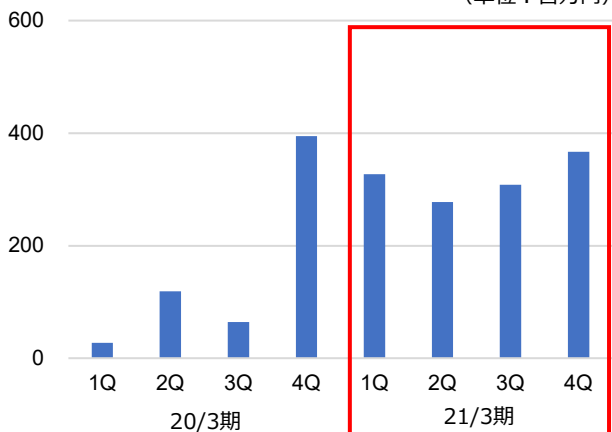
- 半導体業界の設備投資は好調維持。受注・売上高共に増加
- 医療分野向け事業展開進捗

(単位：百万円)

	20/3期 実績	21/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	605	1,300	1,280	+112%	▲2%
売上高	486	1,200	1,313	+170%	+9%
セグメント利益	78	200	399	+412%	+100%
セグメント利益率	16.2%	16.7%	30.4%	-	-
受注残高	578	678	544	▲6%	▲20%

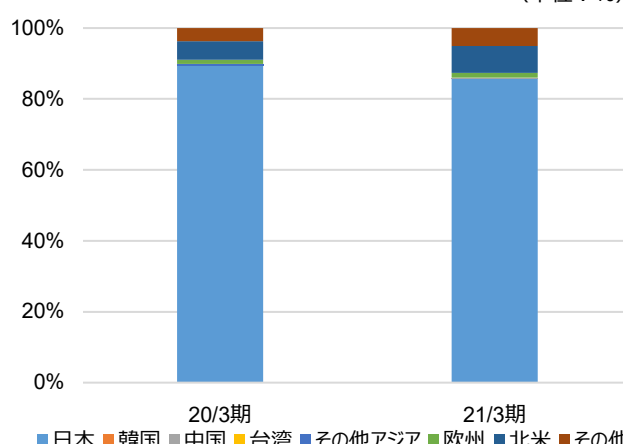
受注高推移

(単位：百万円)

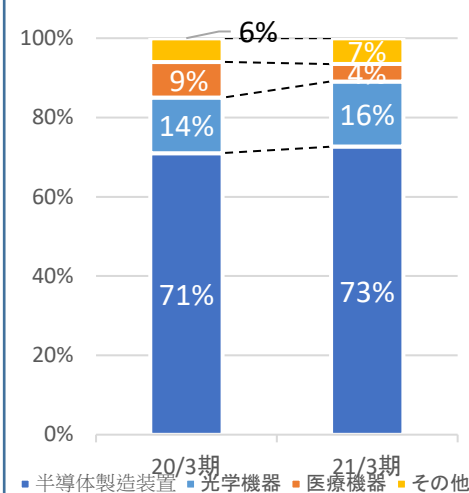


地域別売上高推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移



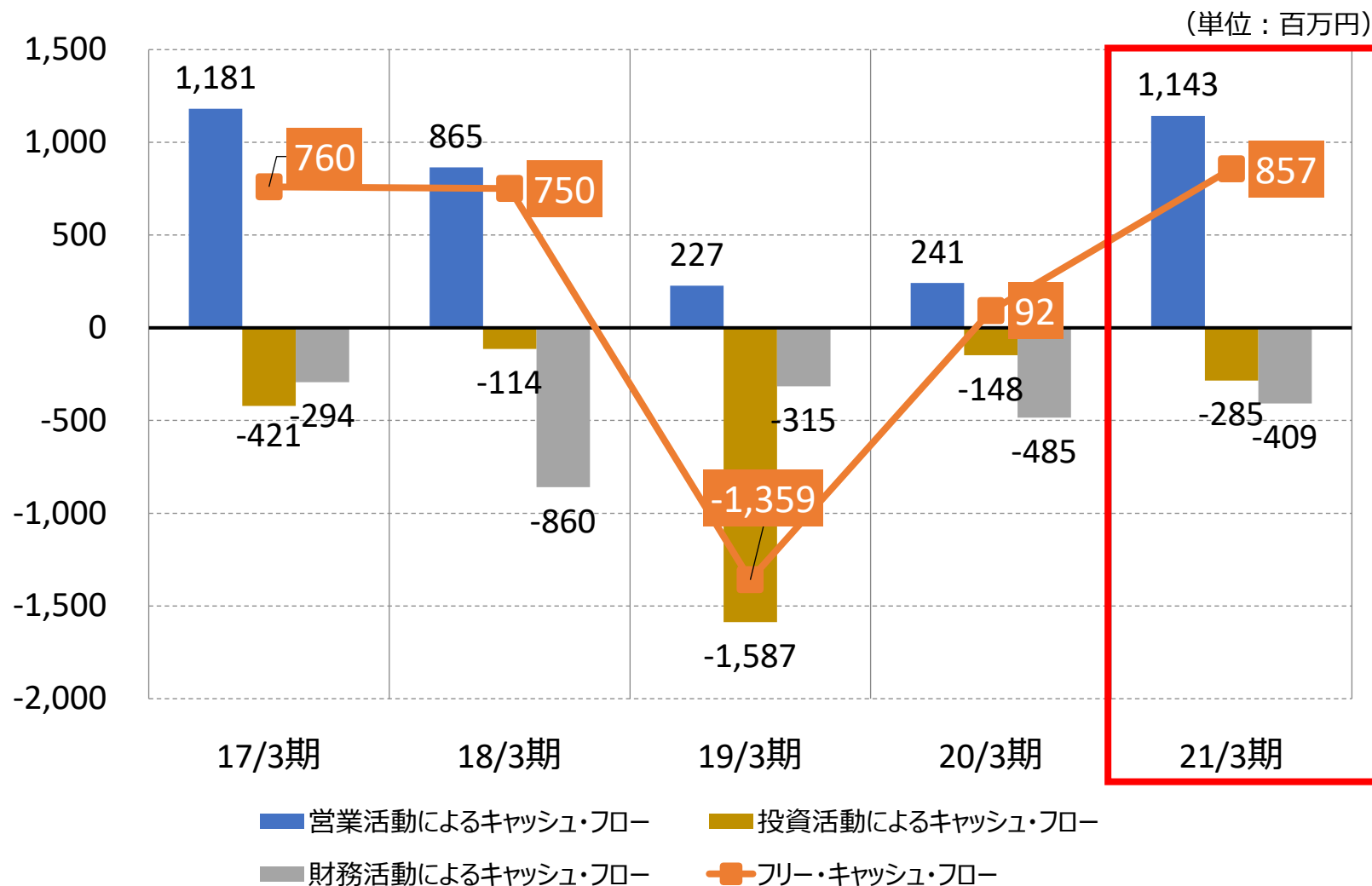
※1.オプティクス事業は20/3期より区分し、20/3期1Qから3Qの受注高推移については、従来の「その他」区分を記載しています。
 ※2.連結子会社化した株式会社光学技研の受注高・売上高は数値比較を容易にするため、20/3期の4Qから取り込んで表示しています。

貸借対照表

(単位：百万円)

	20/3期		21/3期		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	4,155	27.8%	4,679	30.5%	+ 523
売上債権	4,116	27.6%	3,570	23.3%	▲ 546
棚卸資産	1,933	12.9%	1,986	13.0%	+ 53
その他流動資産	234	1.6%	166	1.1%	▲ 68
流動資産	10,439	69.9%	10,403	67.9%	▲ 36
有形固定資産	2,854	19.1%	2,934	19.1%	+ 80
無形固定資産	245	1.6%	207	1.4%	▲ 37
投資その他資産	1,398	9.4%	1,779	11.6%	+ 380
固定資産	4,498	30.1%	4,921	32.1%	+ 423
資産合計	14,937	100.0%	15,324	100.0%	+ 386
買入債務	299	2.0%	351	2.3%	+ 52
その他流動負債	1,189	8.0%	996	6.5%	▲ 192
流動負債	1,488	10.0%	1,347	8.8%	▲ 140
固定負債	567	3.8%	450	2.9%	▲ 117
負債合計	2,055	13.8%	1,797	11.7%	▲ 258
純資産合計	12,882	86.2%	13,527	88.3%	+ 644
負債・純資産合計	14,937	100.0%	15,324	100.0%	+ 386

キャッシュ・フローの状況



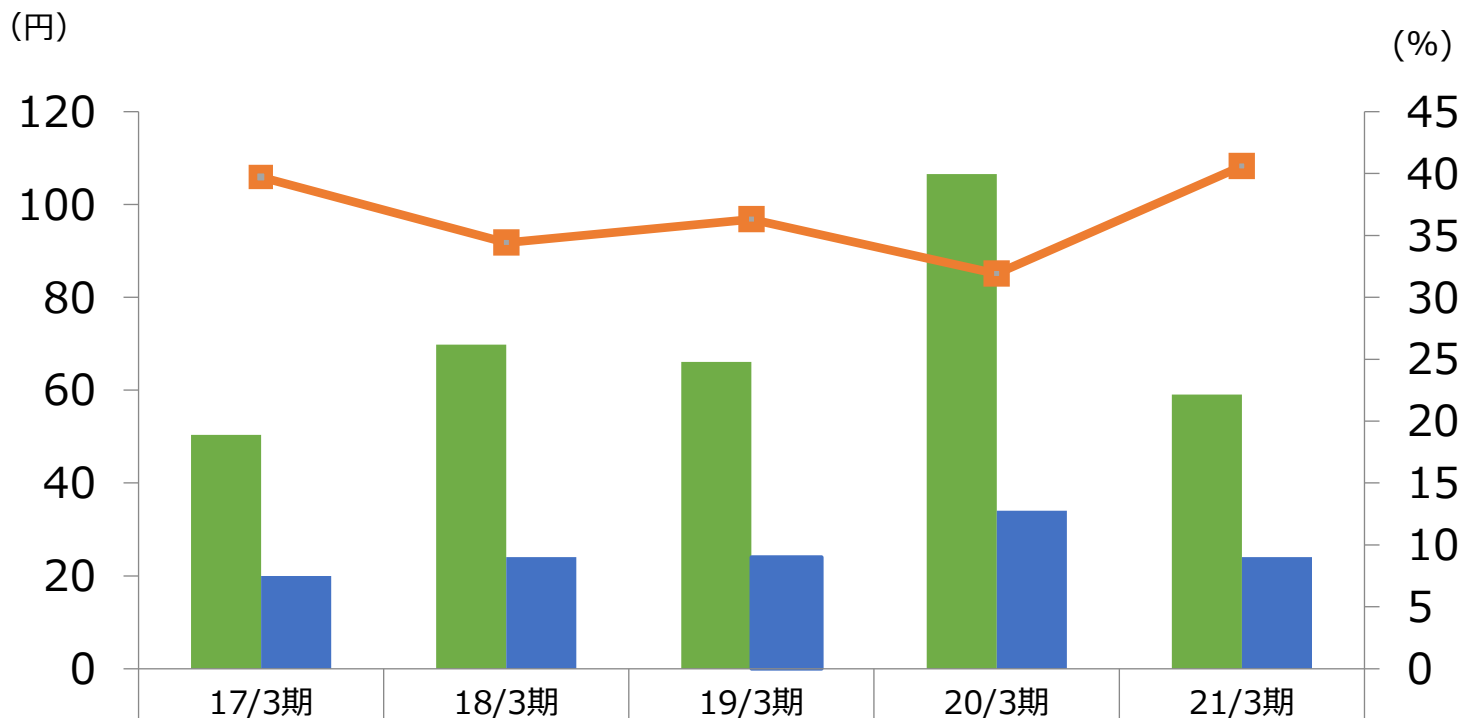
21/3期概況

営業活動によるキャッシュ・フロー：税金等調整前当期純利益（635百万円）、売上債権の減少(549百万円)

投資活動によるキャッシュ・フロー：固定資産取得（-218百万円）

株主還元について

＜基本方針＞ 安定配当の維持を基本に連結配当性向目標35%



■ 1株当たり当期純利益	50.39	69.79	66.07	106.58	59.06
■ 配当金(円)	20	24	24	34	24
■ 配当性向(%)	39.7	34.4	36.3	31.9	40.6

21/3期は配当性向目標を超えた配当を決定

2. 今期計画 (2021/4 – 2022/3)

今期計画

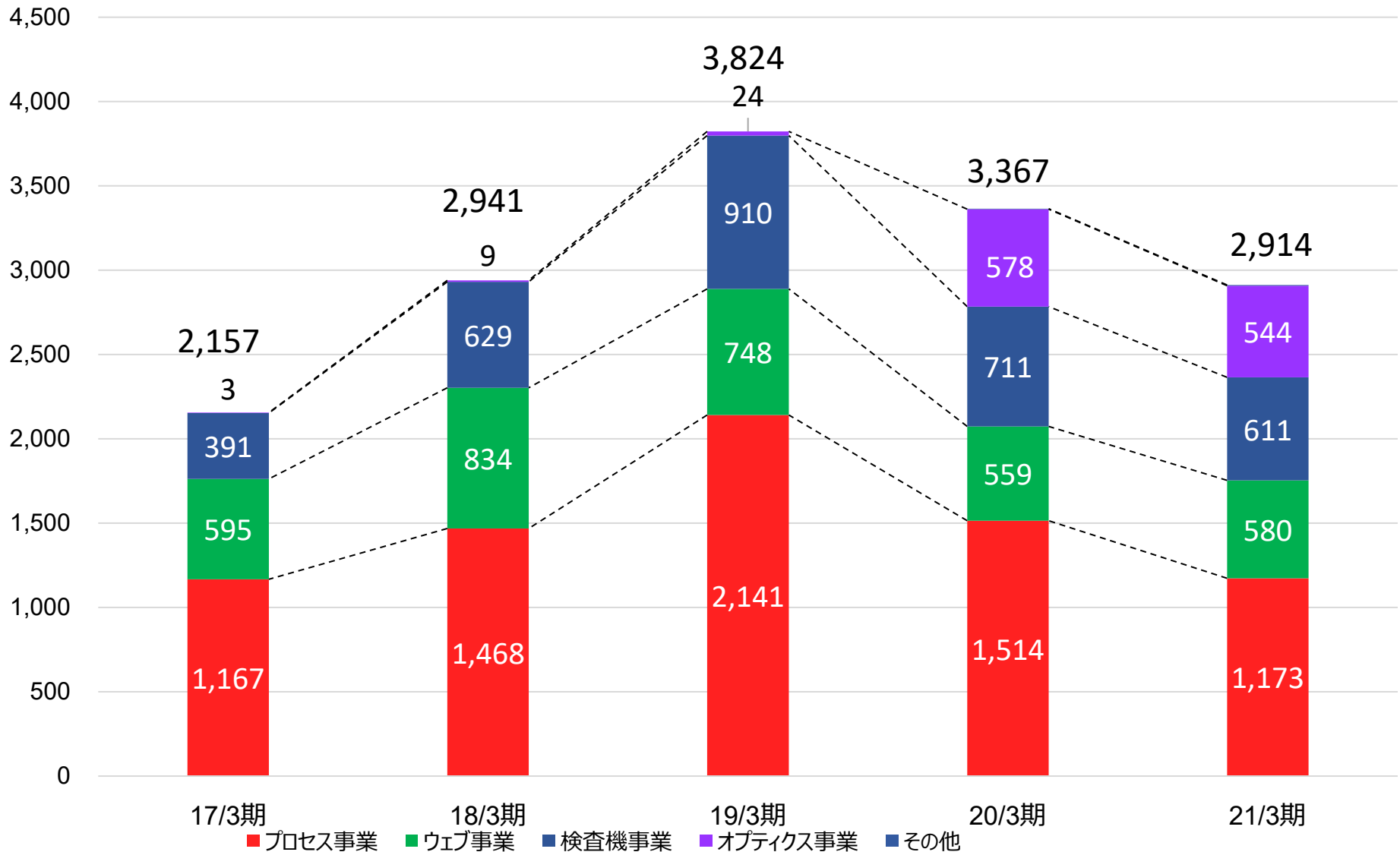
- 経済活動再開により世界的な景気回復の動き
- 対前期比増収、増益を見込む

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期 計画	増減率 実績比
受注高	7,447	8,800	+18%
売上高	7,899	8,500	+8%
営業利益	600	650	+8%
営業利益率(%)	7.6%	7.6%	-
経常利益	635	700	+10%
経常利益率(%)	8.0%	8.2%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	432	500	+16%
当期純利益率(%)	5.5%	5.9%	-
1株当たり当期純利益(円)	59.06	68.22	+16%
受注残高	2,914	3,214	+10%

受注残高状況推移

(単位：百万円)



※オプティクス事業は20/3期より区分したことから、受注高推移については、19/3期以前は従来の「その他」区分の受注残高を記載しています。20/3期は、「その他」の受注残高を含んでいません。

対象市場の状況と施策：プロセス事業

国内鉄鋼市場

- 設備の集約により鉄鋼メーカーの設備投資減退
- 経済活動再開に伴い稼働率上昇



- 更新、メンテナンス需要を着実に受注

海外鉄鋼市場

- 中国を中心に海外市場回復

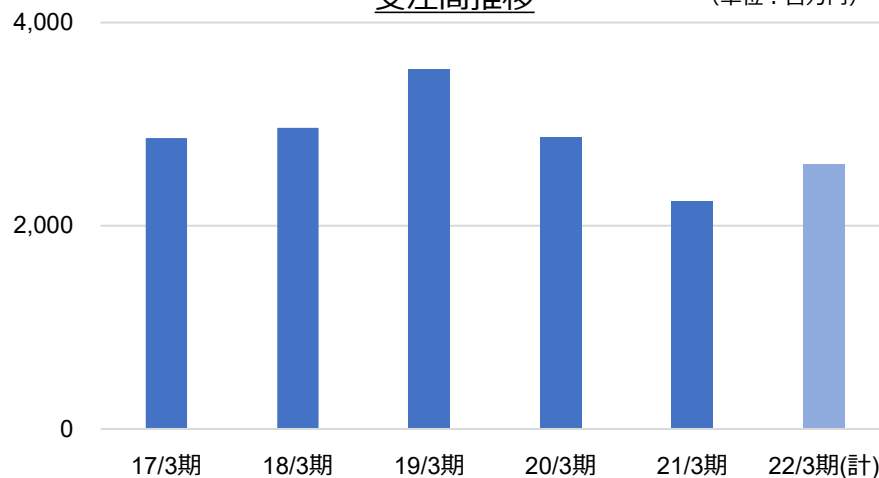


- 海外販売体制の強化
- 中国等を始めとする海外子会社との連携強化
- 海外向け製品開発注力

	21/3期 実績	22/3期 計画
受注高	2,242	2,600
売上高	2,584	2,400
セグメント利益	412	350
セグメント利益率	15.9%	14.6%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：ウェブ事業

電子部品・高機能フィルム市場

- 中国・韓国・台湾・欧州等を中心に二次電池向け投資は好調維持



- 二次電池向け設備投資需要取り込み
- 業務提携先であるE+L社製品の国内販売開始

紙・印刷・軟包材市場

- 紙・印刷需要の減少により、市場縮小傾向継続
- 一方、巣ごもり消費による新たな需要に加え、経済活動再開により、各メーカーの設備投資は回復基調

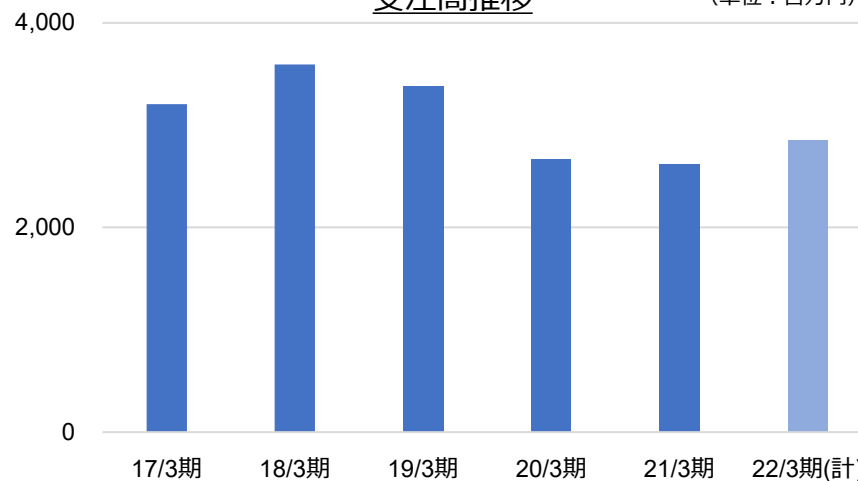


- メーカー設備投資や環境関連投資に向けた販売活動
- 業務提携先であるE+L社製品の国内販売開始

	21/3期 実績	22/3期 計画
受注高	2,620	2,850
売上高	2,599	2,800
セグメント利益	291	400
セグメント利益率	11.2%	14.3%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：検査機事業

電子部品・高機能フィルム市場

- 各メーカーの検査設備投資に遅れ
- ニーズの多様化



- 延期された検査装置需要の取り込み
- 市場投入した無地検査装置新製品等の販売拡大

食品市場

- 農業分野向け検査装置需要は堅調
- 省人化・生産性向上ニーズ等から、加工食品向けの検査需要拡大

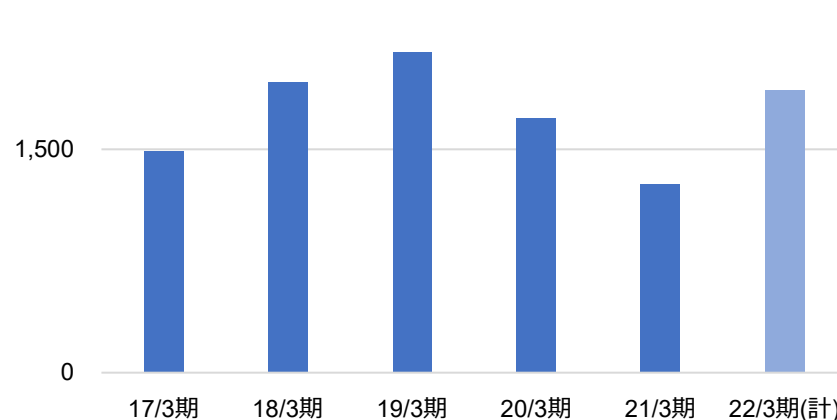


- 農・水産業分野向け販売活動注力
- 加工食品検査ニーズへの対応強化

	21/3期 実績	22/3期 計画
受注高	1,265	1,900
売上高	1,365	1,900
セグメント利益	▲ 19	150
セグメント利益率	-1.4%	7.9%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：オプティクス事業

光学部品市場

- 半導体検査装置需要は微細化等で需要強い
- レーザー関連光学部品は幅広い需要あり



- 光学部品需要の着実な取り込み
- 結晶加工技術・研磨技術の強みを活かした新規用途開拓

レーザー関連製品等

- 半導体検査や医療用途向けニーズ強い

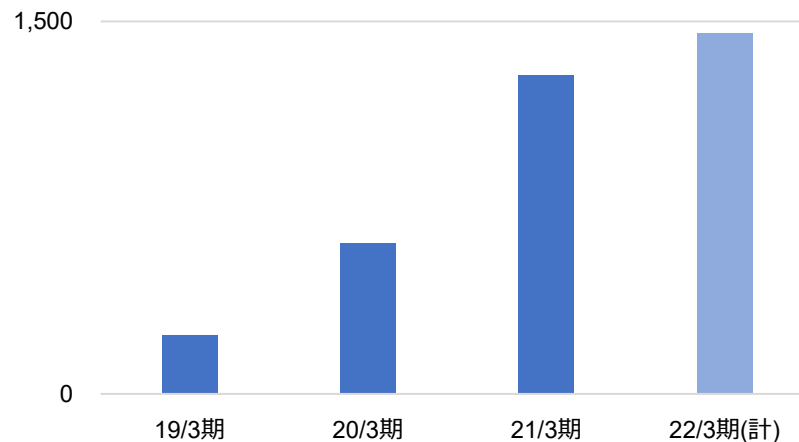


- 既存製品及び新製品の拡販注力
- 製品特徴を活かした用途開発
- 医療分野向け製品開発

	21/3期 実績	22/3期 計画
受注高	1,280	1,450
売上高	1,313	1,400
セグメント利益	399	300
セグメント利益率	30.4%	21.4%

受注高推移

(単位：百万円)



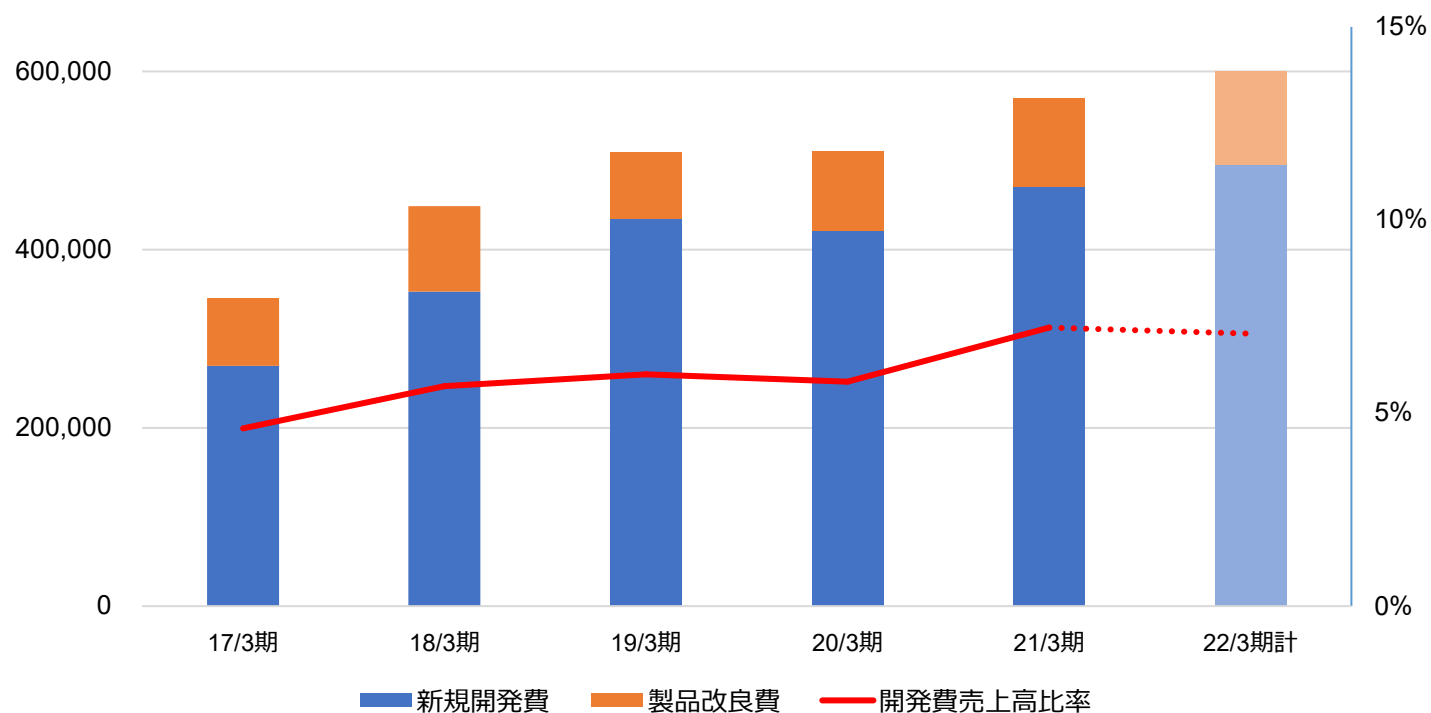
R&D

- 強みを持つ技術を活用し、新たな収益源の創出に向け、開発案件への取組みを加速

主な開発テーマ

- 次世代検査機・計測装置の開発
- レーザー技術による製品開発
- 磁界、高周波技術による製品開発
- 近赤外分光装置の用途開発

(単位：千円)



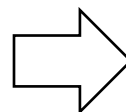
3. 持続的成長に向けて

持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

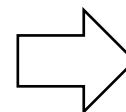
市場の拡大

- 海外展開の推進強化
- 検査機事業の強化・オプティクス事業の強化
- 新製品開発による新事業分野の開拓

**事業基盤の拡大強化**

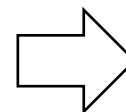
技術の進化

- 画像解析技術の高機能化による製品展開
- 光応用技術による製品開発

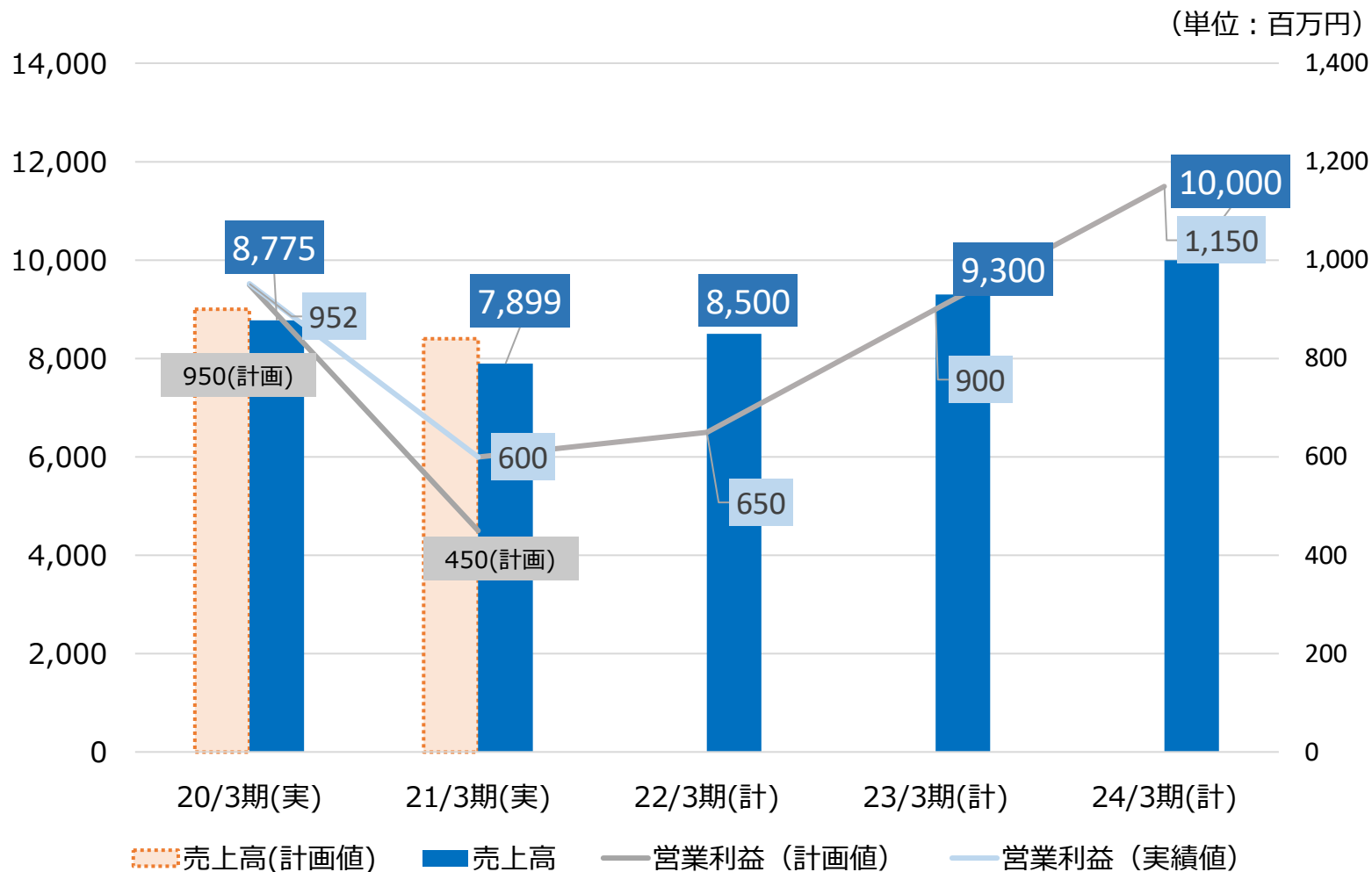
**競争優位性の向上**

経営体質の強化

- 既存事業の収益改善
- グループ・外部との連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資

**経営基盤の強化**

5 年計画



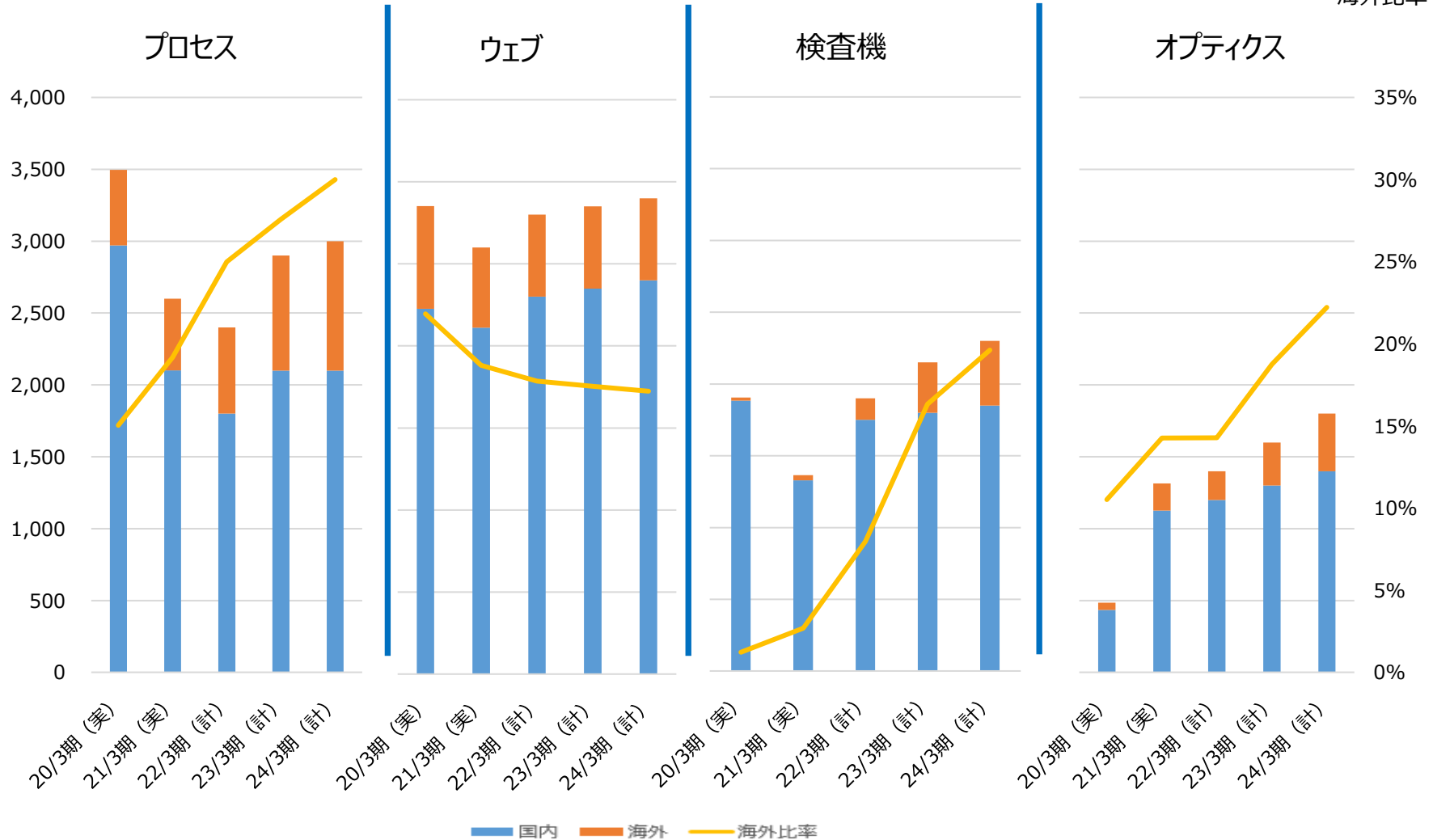
世界各国において経済活動再開に向けた取り組みが本格化し、顧客企業の設備投資も回復基調となることを想定

5 年計画

(セグメント別国内外売上)

売上高 (百万円)

海外比率



参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	430名*
連結売上高	7,899百万円*

* 2021年3月期連結ベース

沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2017年 : 株式会社メガオプトを子会社化
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : Nireco International GmbHを設立（ドイツ）
 - 株式会社メガオプトを吸収合併
 - 株式会社光学技研を子会社化

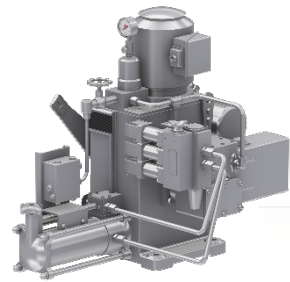
経営理念

「技術と信頼」

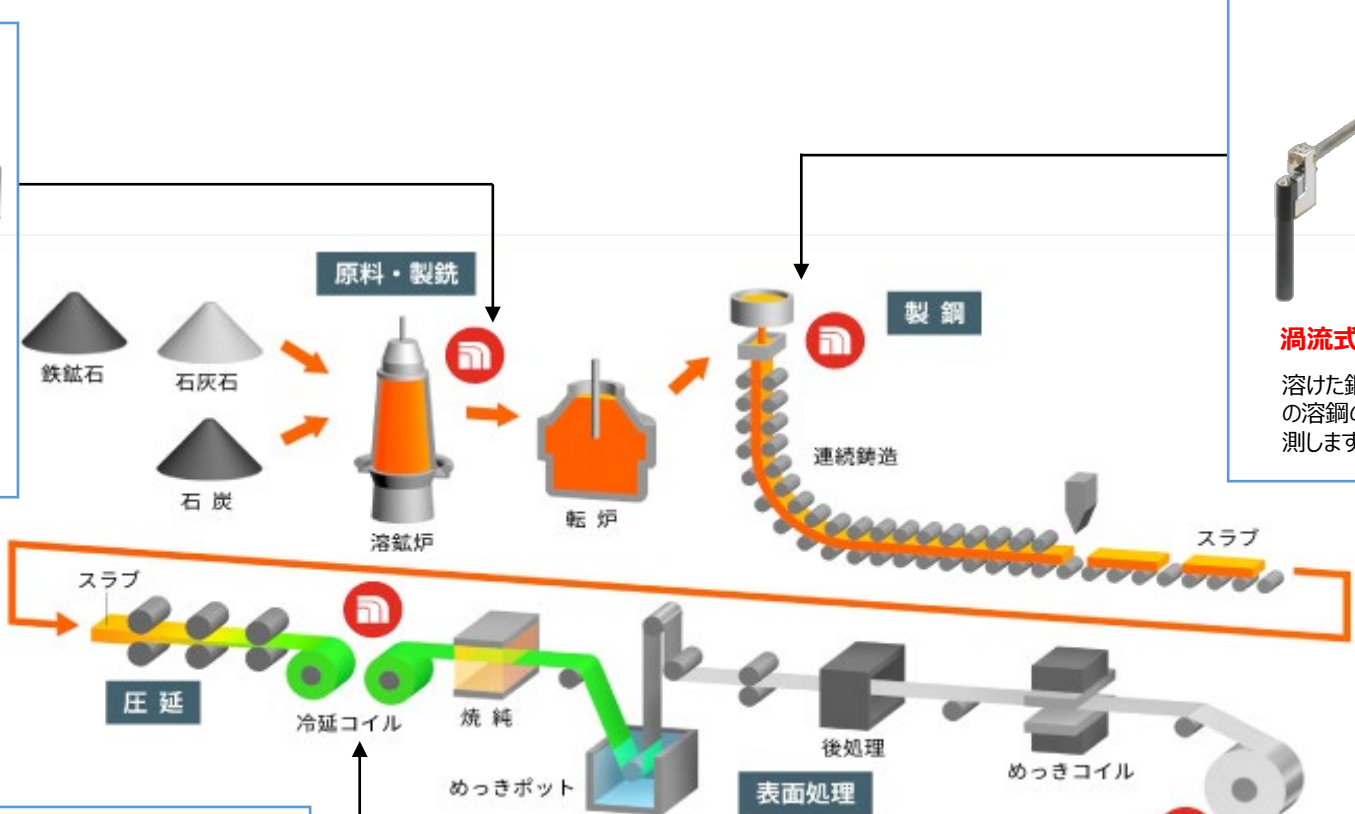
われわれは、制御、計測、検査技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。ひいてはパートナーシップにより生み出された価値が広く社会において喜びと感動をもたらす経営を目指します。

プロセス事業

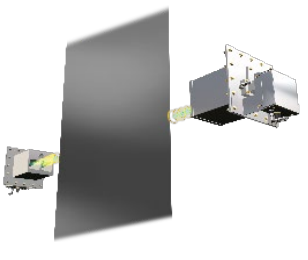
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業等あらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス制御装置
溶鉱炉内の圧力、流量、温度等の制御を行っています。



渦流式溶鋼レベル計
溶けた鋼を型に流し込む際の溶鋼の表面の位置を計測します。



耳端位置制御装置
製造ラインを流れるスラブ（鋼材）の蛇行制御を行っています。



自動識別印字装置
できあがった金属素材に様々な情報を印字しています。

ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔等薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置等を扱う事業です。



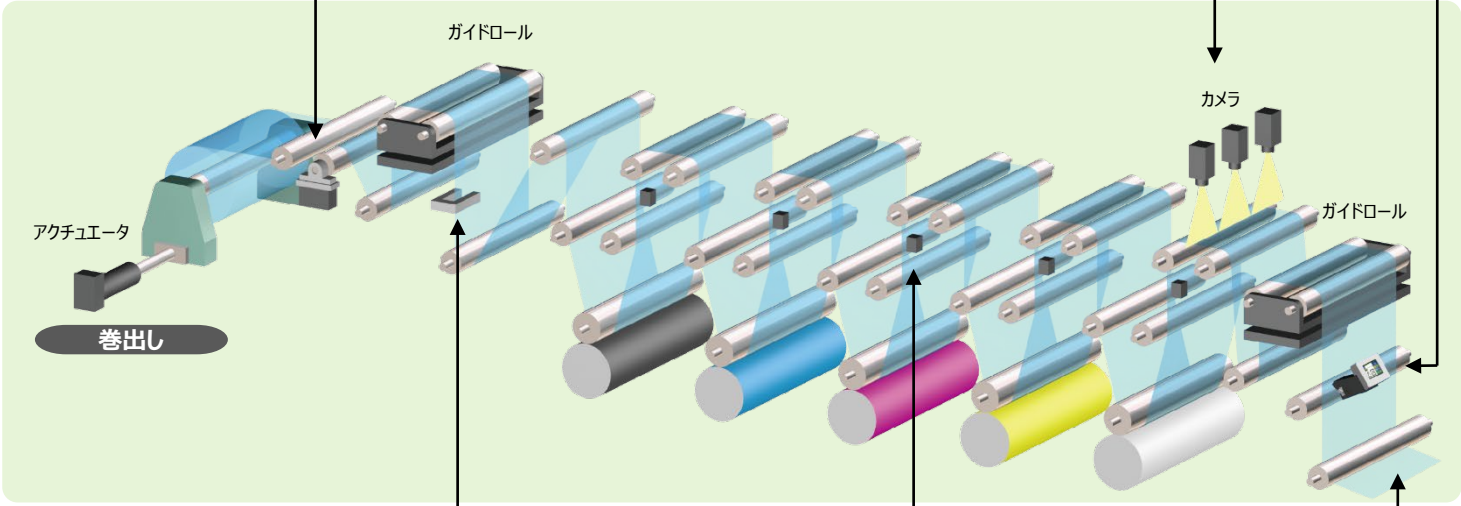
張力制御装置
ウェブの張力を一定に保ちしわ・たるみの発生を防ぎます。



印刷品質検査装置
印刷ラインの欠点を検出します。



**耳端位置制御装置
(絵柄基準)**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。




**耳端位置制御装置
(エッジ・センター基準)**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



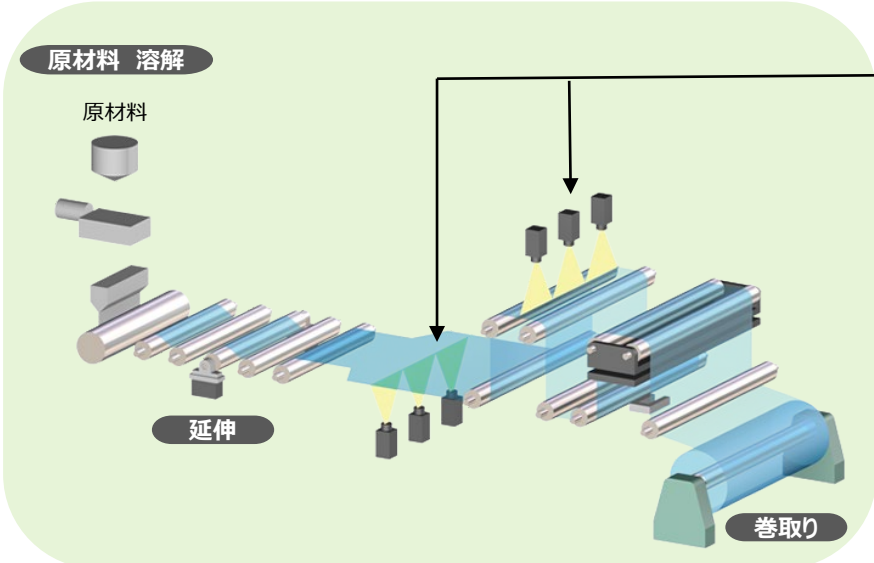
自動見当制御装置
グラビア印刷の縦横見当を自動制御します。



糊付け装置
様々な製品パターンに応じて糊付けを行います。

検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。

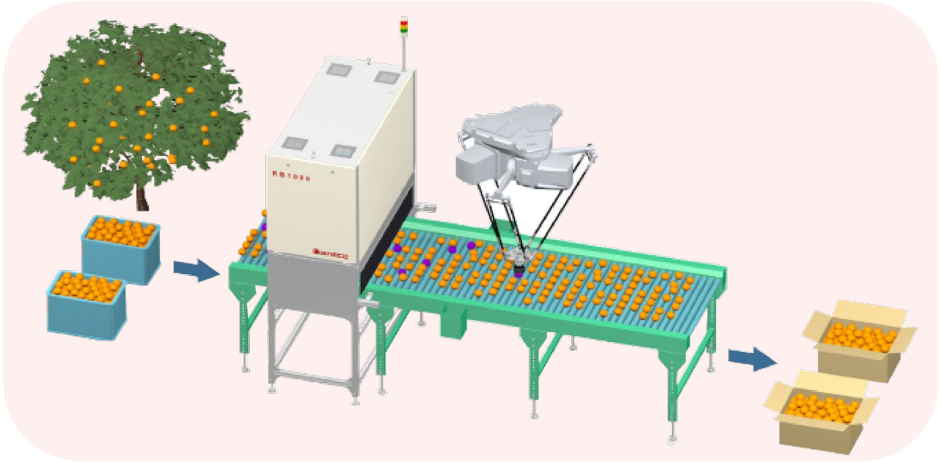


無地検査装置

あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）等を検査します。

選果装置

農産物の品質を外部（キズ、腐敗、サイズ等）、あるいは内部（糖度、酸度）要因から瞬時に非破壊で判別します。



オプティクス事業

長年に渡り培ってきたレーザー関連製品やグループ会社の株式会社光学技研が取り扱う高度な技術を必要とする特殊な光学部品を扱う事業です。

➤ 主要用途：

- 半導体検査装置
- 光学機器
- 医療機器

光学部品



非線形光学結晶

半導体検査装置等で用いられる紫外光発生に適したCLBO素子を提供し、高い評価を受けています。

偏光子

特定の光を取り出すことのできる偏光子を、学術研究分野、光学機器分野、レーザー用途等、幅広く提供しています。

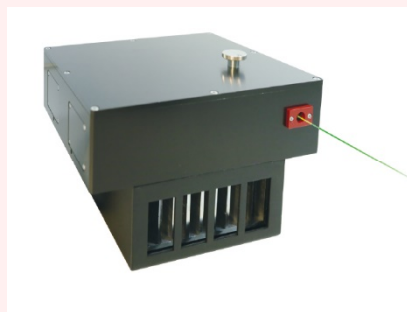


レーザー関連製品



深紫外ファイバーレーザー Cygnus

深紫外ファイバーレーザーを用いたマスク検査を実現します。定期的なメンテナンスは年1回と安定的な性能を有しています。

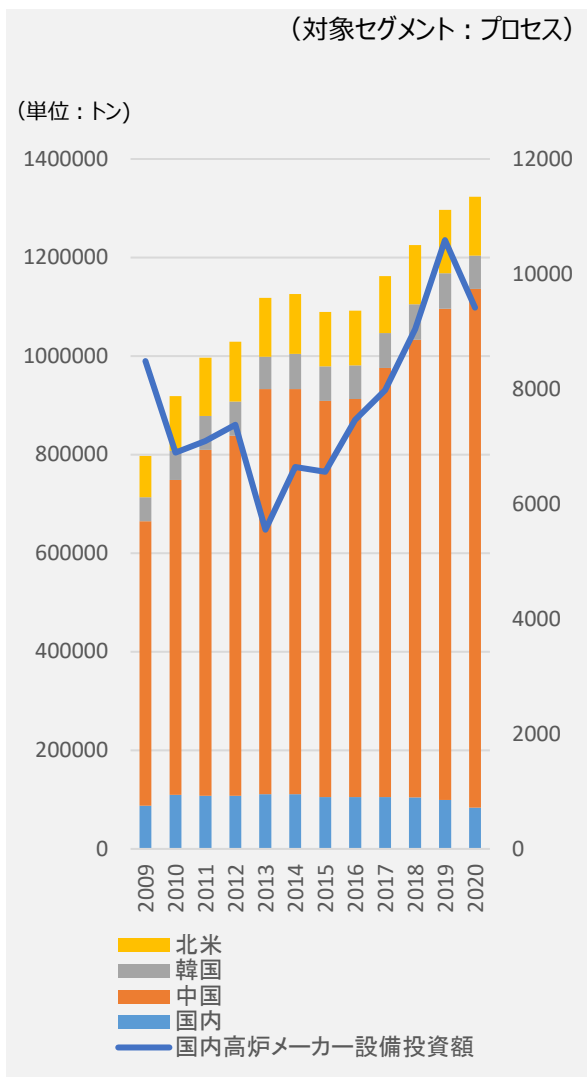


レーザー装置 HR-G10

高出力グリーンレーザーを用い、シリコンウエハへの加工、金属へのマーキング、樹脂内のマーキング、薄膜加工等、多用途に用いることが可能です。

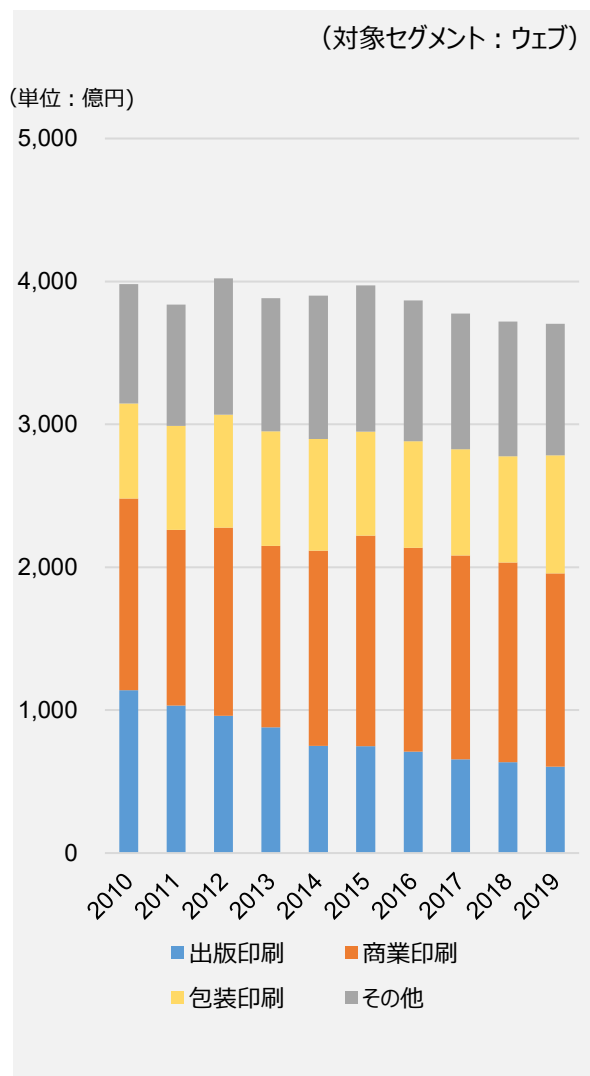
各事業市場動向

地域別粗鋼生産量及び 国内高炉大手設備投資額の推移



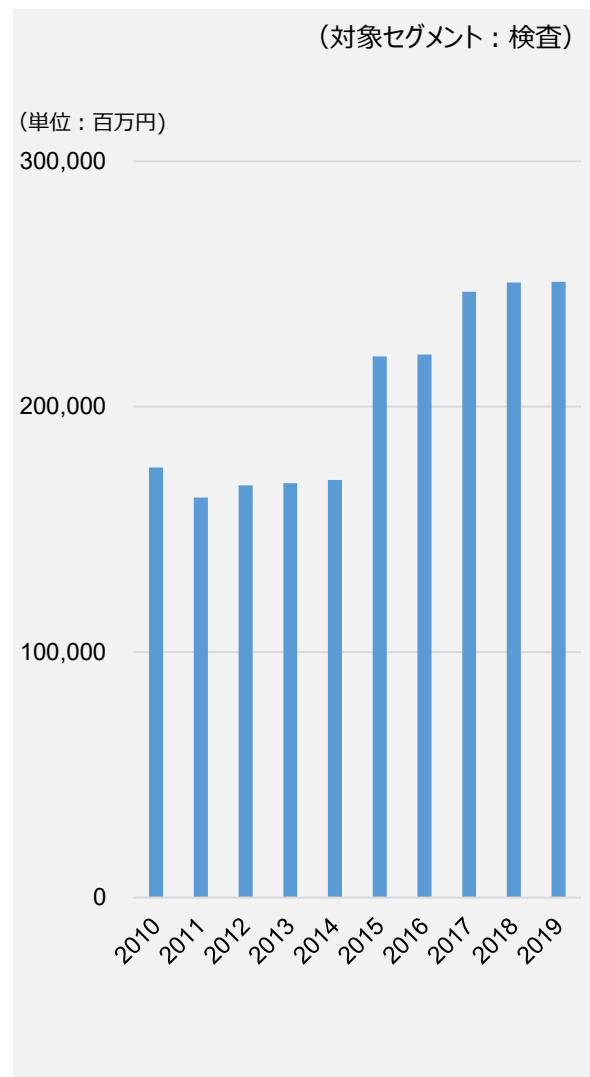
[出展：日本鉄鋼連盟]

印刷市場規模の推移



[出展：工業統計、生産動態統計より当社集計]

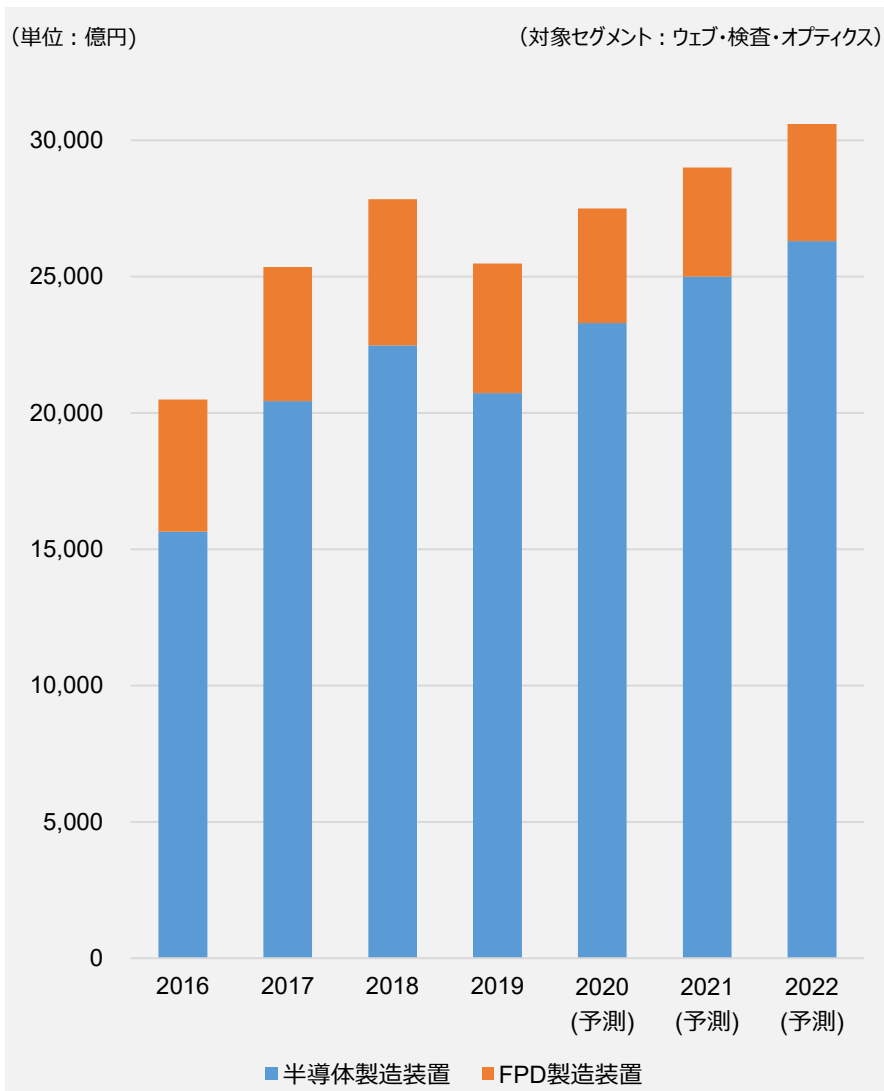
食品機械国内販売額の推移 (除、加工機械)



[出展：日本食品機械工業会資料]

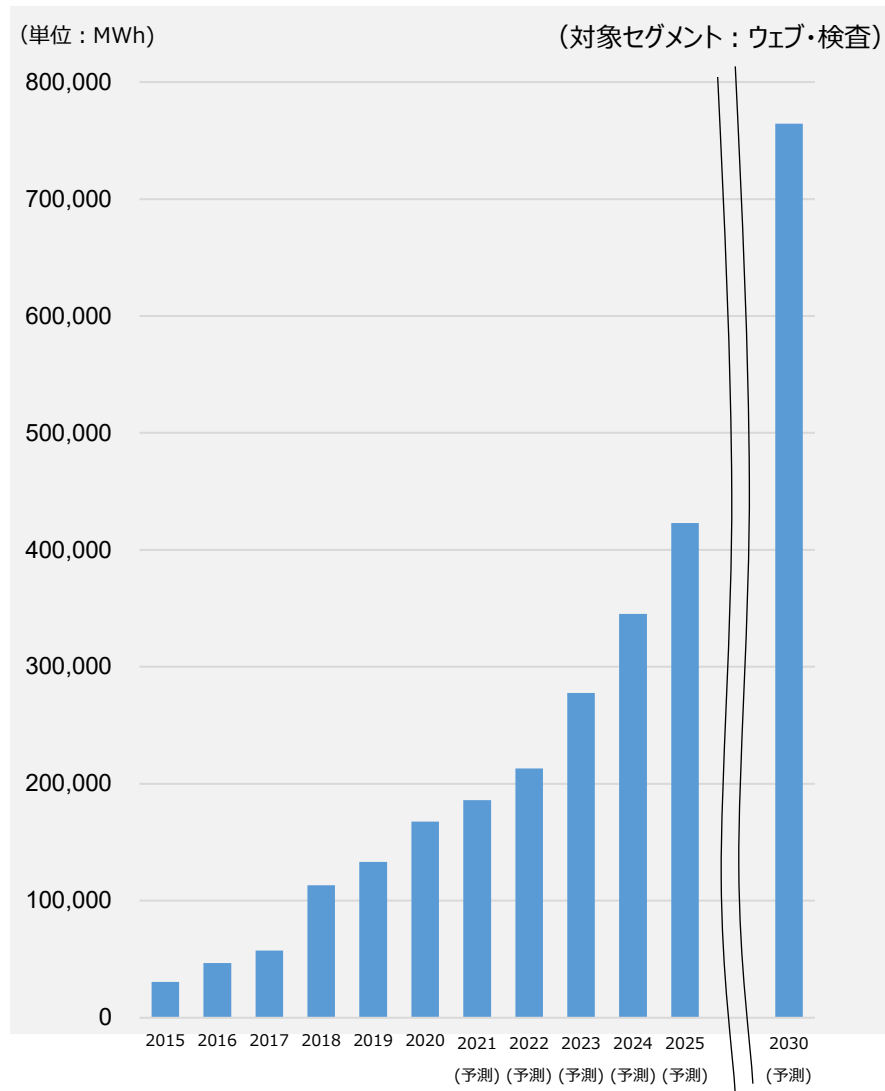
各事業市場動向

半導体・FPD製造装置需要予測



[出展：日本半導体製造装置協会]

車載用Lib世界市場予測



[出展：矢野経済研究所資料]

NIRECO